

資料編③

上位計画関連

1) 札幌駅交流拠点まちづくり計画

「札幌駅交流拠点まちづくり計画」における、取り組みの方向性を踏襲し、北海道・札幌の玄関口にふさわしい、魅力的で一体感のある空間の形成を目指します。

《取組の方向》

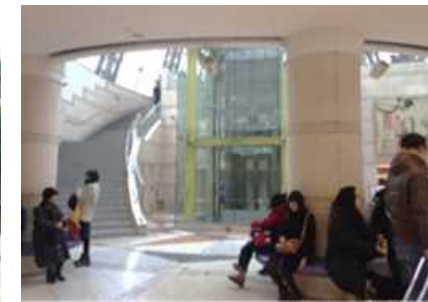
1) 道都の玄関口にふさわしい風格とにぎわいのある顔づくりを進める

- ①新幹線駅施設と周辺開発の連携によるまちづくり
- ②パブリックライフ*を実現する南口駅前広場の再整備
- ③地下と地上を結ぶ結節空間の充実
- ④南口駅前広場と創成東地区との結びつきを高めるオープンスペースの形成
- ⑤駅とまちが一体的に感じられる景観の形成

*パブリックライフ：働く、学ぶ、遊ぶ、住むといった基本的な都市の生活を支える交流・社会活動。
言葉を交わす直接のやり取りだけでなく、人と人、人と都市空間とのコミュニケーション活動。



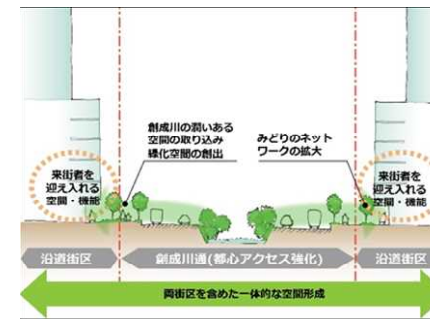
JR札幌駅南口広場



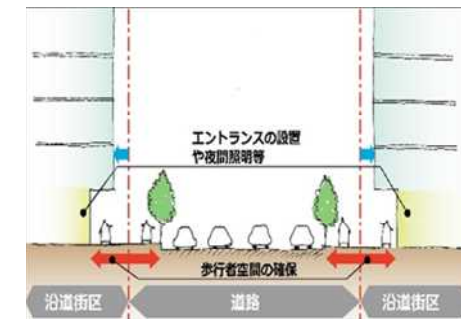
バリアフリー動線を備え地上とつながる空間のイメージ(札幌駅地下街(APIA))

2) 歩行者中心の回遊性の高い空間を形成する

- ⑥都心のにぎわいと活力を象徴する骨格軸・展開軸の空間形成
- ⑦回遊性を高める歩行者空間・辻広場の形成
- ⑧界わい性を感じられる多様な通り抜け空間の形成



創成川沿道の空間形成のイメージ



安全かつ快適な歩行者空間のイメージ

3) 北海道・札幌の気候特性に対応した空間を形成する

- ⑨1年を通じて快適な屋内公共空間の形成
- ⑩質の高い地下歩行者ネットワークの形成



接続部における滞留空間のイメージ
(札幌駅前通地下歩行空間(チ・カ・ホ))



地上の様子が感じられる明るい地下広場のイメージ(大通ビッセ)

2) 札幌駅交流拠点北5西1・西2地区再開発基本構想

「札幌駅交流拠点北5西1・西2地区再開発基本構想」での、道都札幌の玄関口にふさわしい新たなシンボル空間の創出を目指します。

《整備方針》「札幌駅交流拠点北5西1・西2地区再開発基本構想」(2019年10月策定・札幌市)

1.シンボル性のある拠点の創出

- 札幌の新たなシンボルとなる拠点の創出を目指します。

2.新幹線改札口との一体性確保

- 新幹線改札口と本再開発ビルとが一体感を持つよう接続するとともに、道都札幌の玄関口にふさわしい開放感のある設えを確保します。

3.既存建物等とも調和する景観形成

- 高層部のセットバックにより圧迫感を軽減するとともに、建物低層部の軒高、色彩、意匠等、南口駅前広場や周辺建物との調和に配慮します。
- 南口駅前広場からの景観に配慮し、北5西2街区の建物高さは抑える一方で、北5西1街区は高度利用を図り、2街区間でメリハリのある景観を形成します。

4.北5西1・西2地区の一体的な整備

- 新幹線駅施設から既存の各交通機関とをつなぐ歩行者動線を連続的に確保でき、スケールメリットを活かすことができることから、北5西1・西2地区を一体的に整備します。
- 2街区の一体性確保のため、西2丁目線上空(デッキレベル)の利用を図ります。

5.質の高いオープンスペースの創出

- 東西の人の流れを促し、両街区一体のにぎわいを生み出すオープンスペースを整備します。
- 四季を問わず快適に利用でき、災害時の一時滞在施設としての利用も考慮したゆとりある空間を整備します。

6.東西方向の連続性・展開性の確保

- 南口駅前広場と一体的なにぎわいを作り出し、創成東地区へ波及させるような空間を整備します。
- 南口駅前広場と連続する駅前の新たな顔となる空間を整備します。

7.みどり豊かなネットワークの形成

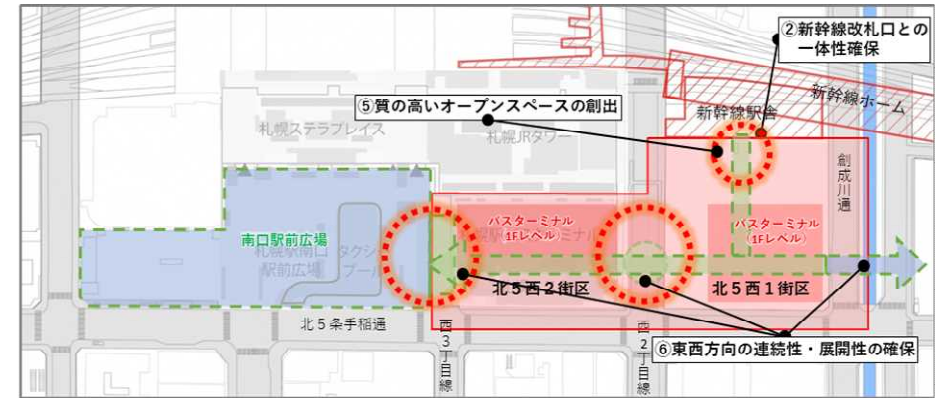
- 南口駅前広場から創成川通までの緑化など、都心のみどりのネットワークの形成を図ります。
- 創成川のみどりや水に配慮した空間の形成を図ります。



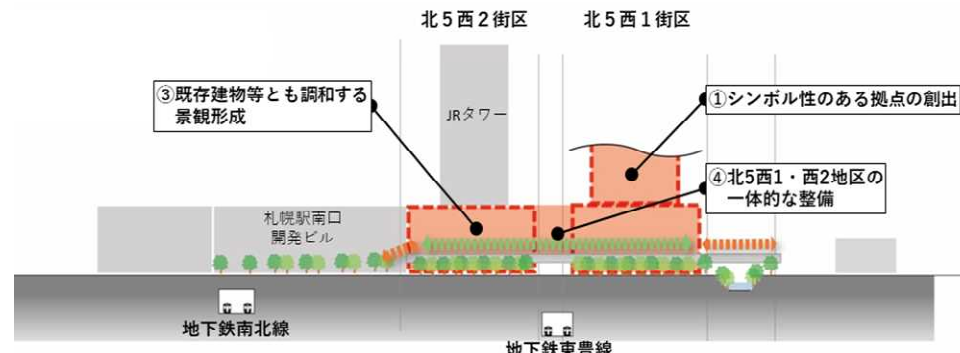
創成川通



みどりを感じられる屋内空間のイメージ
三井JPビル(札幌市)



街並み形成整備イメージ 地上・デッキレベル

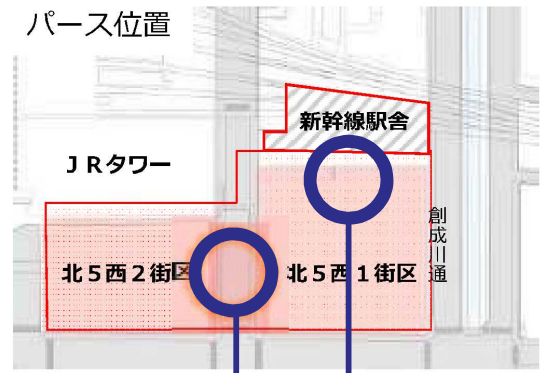


街並み形成整備イメージ 東西断面図 2

3) 札幌駅交流拠点北5西1・西2地区再開発計画

検討中の再開発計画で公表されているイメージを踏まえ、道都札幌の玄関口にふさわしい空間形成を目指します。

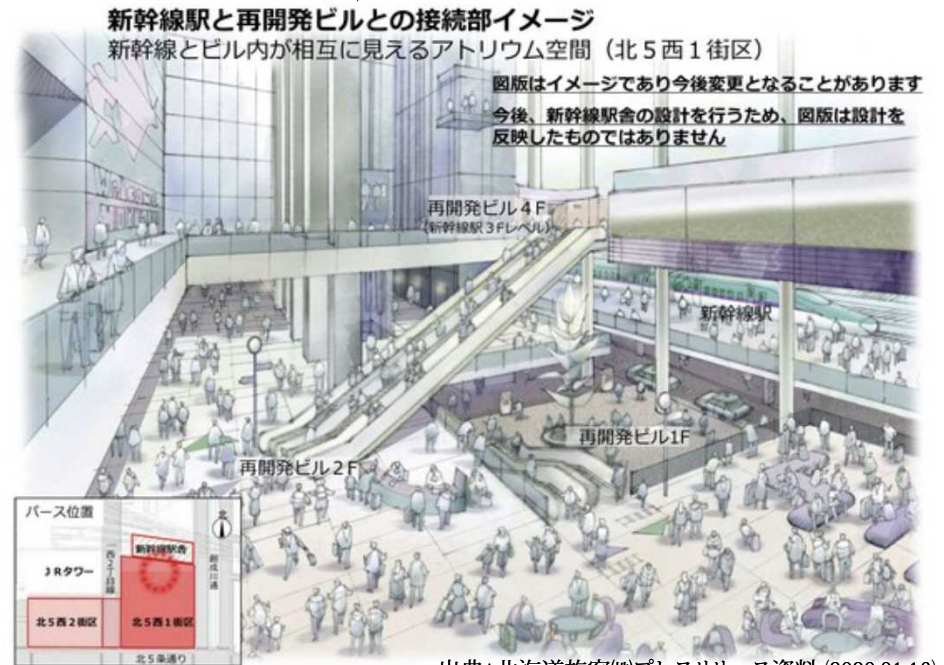
- 2019.11.11「札幌駅交流拠点北5西1・西2地区市街地再開発準備組合」設立のお知らせ(札幌市、北海道旅客鉄道株)
 - ・北5西1・西2地区において、「札幌駅交流拠点北5西1・西2地区市街地再開発準備組合」を設立。
 - ・早期事業化に向けて本格的な検討に取り組み、「世界へつながる“さっぽろ”の新たな顔」としてふさわしい開発の実現を目指す。
- 2020.01.16新幹線札幌駅について(北海道旅客鉄道株)
 - ・新幹線専用改札を1階から3階に変更し、在来線改札、幹在乗り換え改札と同じフロアに集約。
 - ・再開発ビルと接続することによりバス、地下鉄、タクシーとの交通結節機能を確保する。あわせて、交通広場の利便性も高める。



交通待合交流空間



出典:北海道旅客株、札幌市プレスリリース資料(2019.11.11)



出典:北海道旅客株プレスリリース資料(2020.01.16)